

西区洪水ハザードマップ

洪水浸水想定区域(想定最大規模※)

帷子川水系河川：帷子川、石崎川、新田間川、幸川、帷子川分水路

この洪水ハザードマップは、帷子川水系等の河川の氾濫が予想される場合や実際に氾濫した場合に、浸水が想定される区域の皆さんに速やかに避難していただくために作成したものです。

※想定最大規模とは「想定し得る最大規模の降雨」による氾濫を前提として予測したものです。



情報源	横浜地形図製図委託番号 令3建計第9024号 横浜市環境計画部計画地盤データ(地図レベル:2500)により作成
河川	横浜市道路局 河川部
洪水浸水想定区域	帷子川水系洪水浸水想定区域
土砂災害警戒区域	横浜市建設局 土砂災害警戒区域(令和5年12月現在)
土砂災害特別警戒区域	横浜市建設局 土砂災害特別警戒区域(令和5年12月現在)

洪水浸水想定区域(想定最大規模)はどうやって決めたの？

こちらの洪水浸水想定区域^{※1}の範囲やその深さは、想定し得る最大規模の降雨(24時間^{※2}で390mm)を前提として、川の水があふれた場合や堤防が壊れた場合をシミュレーションにより予測したものです。

【参考】横浜地方気象台では、平成26年10月5日に24時間で約307mmの降雨を観測しています。^{※2}

なお、この洪水浸水想定区域は、前提となる降雨を超えるような大雨、下水道等からの浸水、水路の氾濫等を考慮していませんので、着色されていない区域でも浸水が発生する場合があります。実際の浸水深と異なる場合があります。また、図面の表記上、主要道路等の浸水深は着色されておらず、詳しい浸水深は、神奈川県ホームページにてご確認ください。

※1 神奈川県ホームページ
(<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/f4/cnt/13747/p1039490.html>)

※2 横浜地方気象台ホームページ
(<https://www.jma-net.gp/kyokohama/>)

横浜市水防災情報

横浜市内外の河川の水位やカメラ画像をリアルタイムで公開しています。
スマートフォンでは現在地機能で近くの河川情報を取得できます。

凡例 (Explanatory Notes)

○浸水深のめやす

10.0~20.0m未満	2階部分まで浸水する深さ
5.0~10.0m未満	1階部分まで浸水する深さ
3.0~5.0m未満	2階部分まで浸水する深さ
0.5~3.0m未満	1階部分まで浸水する深さ
0.0~0.5m未満	おたの膝まで浸水する深さ

○避難する際に注意する箇所

避難所	避難所
避難所	避難所
避難所	避難所

想定条件
帷子川水系：24時間で390mmの降雨

風水害時における避難場所について

西区では風水害時の避難場所として、下記に示した指定緊急避難場所等を優先して開設します。

開設する条件	No.	避難場所	所在地	位置
横浜南部に土砂災害警戒情報が発表された場合	①	一本松小学校	西戸部町1-115	E-6
	②	老松中学校	老松町27番地	F-6
洪水等で被害が予想される場合	③	西区センター・西公会堂	岡野1-6-41	E-3
	④	西スポーツセンター	浅間町4-340-1	D-4
	⑤	平沼小学校	平沼2-11-36	E-4
	⑥	藤根地区センター	藤根町2-198	E-5

○災害時には上記避難場所以外に、地域ケアプラザ等の公共施設、自治会町内会館を避難場所として開設する場合がありますので、避難の際は、必ず、市・区のホームページやテレビ(データ放送)等で開設されている避難場所をご確認ください。

○2か所以上の避難場所へ避難できるよう、自分自身であらかじめ複数の避難経路を確認しておきましょう。

○すでに浸水が始まっている場合などは無理に避難場所へ移動せず、浸水していない高いところに避難してください。

西区内水ハザードマップ

内水浸水想定区域(想定最大規模)

この内水ハザードマップは、下水道の能力を超える大雨に対して、浸水が想定される区域の皆さんに日頃からの備えや対策をとっていただくために作成したものです。

※河川周辺の浸水想定については、必ず洪水ハザードマップも併せてご覧ください。



情報源	横浜地形図製図委託番号 令3建計第9024号 横浜市環境計画部計画地盤データ(地図レベル:2500)により作成
内水浸水想定区域	横浜市環境計画部 西区内水浸水想定区域(令和3年4月)

内水浸水想定区域(想定最大規模)はどうやって決めたの？

この内水浸水想定区域は、想定最大規模の降雨によって、下水道や水路、道路側溝などから水があふれる範囲や深さをシミュレーションしたものです。想定最大規模降雨とは、各地方において過去に観測された最大の降雨量を基本に設定することになっており横浜市内では、1999年に関東地方で観測された瞬間降雨量153mmとしています。

なお、この内水浸水想定区域は河川の堤防を越えて水があふれることも考慮してシミュレーションしていますが、堤防の決壊は想定していません。洪水浸水想定区域と浸水深や浸水範囲が異なる場合があります。

必ず洪水ハザードマップも併せてご覧ください。

凡例 (Explanatory Notes)

○浸水深のめやす

2.0m以上	1階の軒下以上
1.0~2.0m	1階の軒下まで
50cm~1.0m	50cm~1.0m 浸水範囲
20~50cm	20~50cm 浸水範囲
2~20cm	道路冠水範囲
2cm未満	道路冠水範囲

○避難する際に注意する箇所

避難所	避難所
避難所	避難所
避難所	避難所

想定条件
1時間で153mmの降雨
想定最大規模降雨